

「確かな学力の定着を図り、共に学び合い認め合う集団づくりをめざして」  
～Q-Uを活用した集団づくりと学習指導の工夫改善を通して～  
魅力ある学校づくりプロジェクト（不登校対策）

日置市立吹上中学校

## 1 研究のねらい

不登校の未然防止のためには、生徒にとって魅力ある学校をつくる必要がある。そのために、生徒の居場所づくりや人間関係づくり等を通じた未然防止に関する実践研究や、実態把握を行う必要がある。

そこで、人間関係の実態を、Q-Uを活用してより客観的に把握し、その改善に役立てる。また、学年集会や道徳・特別活動、その他学校生活全般において、構成的グループエンカウンター（以下SGE）を取り入れ、よりよい人間関係の構築を図る。さらに、そこで培われた人間関係を基盤に、授業の中でグループ学習の場や生徒の発表の場を設け、生徒同士が互いの考えを取り入れ尊重し合う中で、より深い学びにつなげる。

## 2 研究の概要

- (1) 学力向上推進部会・・・①授業改善 ②学習習慣確立 ③諸検査分析  
ア 6要素の共通理解・実践      イ 学習ガイダンスによる学習習慣の確立  
ウ 授業力向上に向けた検討・共通実践      エ 諸検査分析
- (2) 実態分析部会・・・①Q-Uの実施・分析 ②アンケート集計・分析  
③分析結果からの生徒の実態把握  
ア Q-Uの実施・分析      イ 生活リズム調査分析  
ウ ノーメディアタイム分析      エ 生徒の意識調査分析
- (3) 実践活動部会・・・①SGEの実施 ②学級活動の充実 ③集会活動の充実  
ア SGEの実施（学級活動・学年集会・生徒集会・各行事での実施）  
イ 学級活動の充実・工夫      ウ 道徳の時間の活性化

## 3 研究の内容

- (1) Q-Uの実施・分析
- (2) SGEの実践
- (3) 道徳の時間の活性化

## 4 研究の実際

- (1) Q-Uの実施・分析  
Q-Uを7月と11月の2回実施し、分析した内容を共有・共通理解し学級経営などに生かした。道徳の授業の班編成や気になる生徒への対応等に役立てた。
- (2) SGEの実践  
行事などにSGEを活用し、行事へ取り組む心構えや振り返りをさせるとともに、友達の気持ちなどを共有・理解させた。

### (3) 道徳の時間の活性化

Q-Uを活用して、班編成を行い意見が出やすい雰囲気づくりを行い、積極的に活動・意見交換が出来るようにした。また、考え議論する場の設定を工夫し、生徒一人一人が意見をもち、それを出し合うことにより、より高い道徳的価値に迫ることができるようになった。

それらの成果を、11月9日(金)に、全学年で、授業公開した。



【1年生 道徳授業】



【2年生 授業研究】

## 5 研究のまとめ

### (1) 成果

- ・ Q-Uを活用することで、実態把握に客観性が増し、気になる生徒への声かけ等継続的に働きかけることができた。
- ・ 行事などにSGEを活用することで、学級集団や異年齢集団の高まりや、行事に対して意欲的に取り組むことができた。特に合唱コンクールや体育大会などで、行事を成功させるために学級に望むことや自分はどうすればよいのかなどを考えさせ、意見交換させた。また、行事終了後は振り返りをさせ、周りの人への感謝の気持ちをもたせることができた。
- ・ 道徳では、考え議論する場を工夫するために、「ライフスキル」の職員研修を実施したことで、話し合いのさせ方などスキルアップにつながった。

### (2) 課題

- ・ 考え議論する場は教科や道徳、特別活動、総合的な活動にも共通しており、今後も改善する必要がある。
- ・ 現在2人の不登校生徒が在籍している。今後集団の力を活用しながら、学校へ「行きたい」と思える魅力ある学校づくりに努めたい。

## 6 今後の取組

道徳においては、Q-UやSGEを通して、考え議論する場を活性化することができるようになってきた。また、教科や特別活動、総合的な学習でも、生徒が積極的に意見交換をし活動できるように改善する必要がある。なお、そのことが主体的、対話的で深い学びへとつながってくると考える。

今年度実施した内容を更に充実させ、生徒の学校生活や教師の授業改善に生かせるよう工夫していきたい。